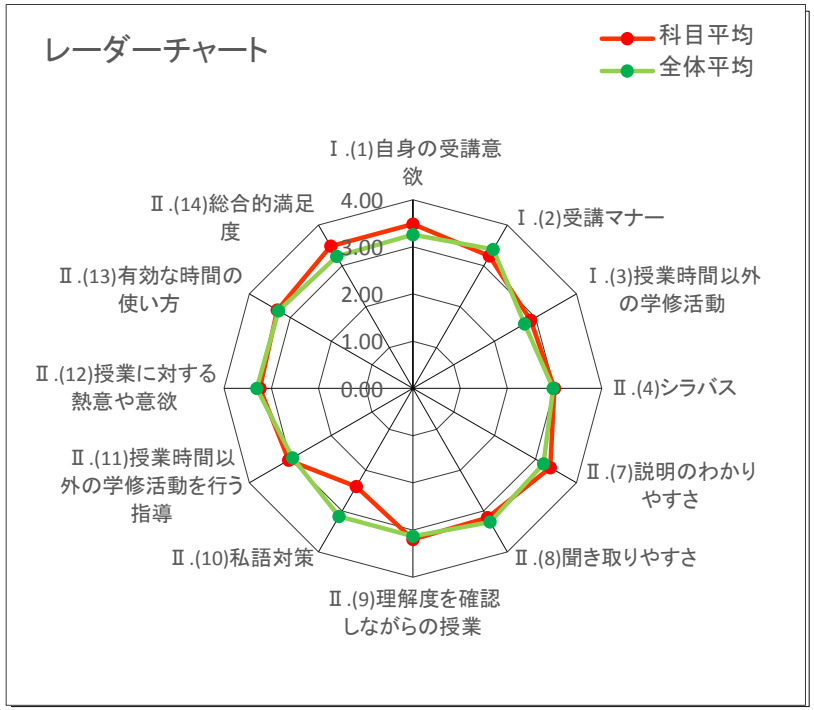
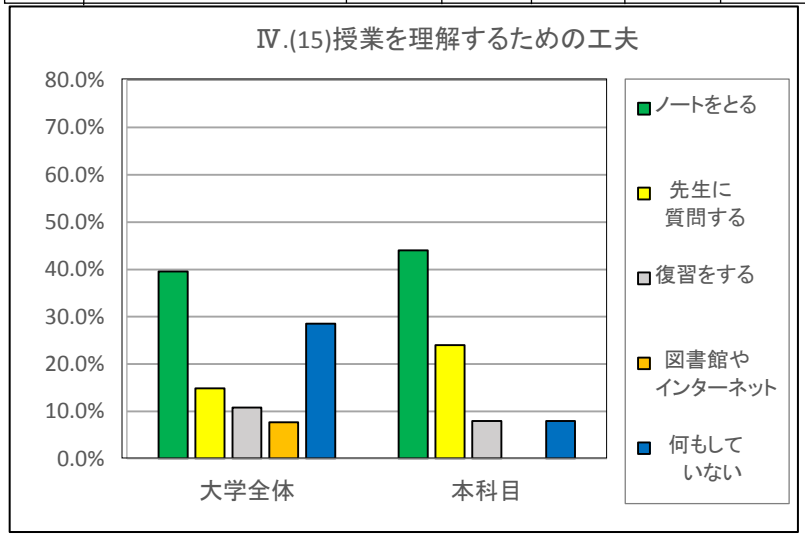
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.48	3.26
	Ⅰ.(2)	3.24	3.40
	Ⅰ.(3)	2.88	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.00	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.36	3.20
	Ⅱ.(8)	3.16	3.27
	Ⅱ.(9)	3.20	3.13
	Ⅱ.(10)	2.40	3.13
	Ⅱ.(11)	3.04	2.94
	Ⅱ.(12)	3.24	3.31
	Ⅱ.(13)	3.32	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.48	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	44.0%	24.0%	8.0%	0.0%	8.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.20	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.09	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.48	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	43101/43302
科目名	中国語基礎Ⅰ/中国語Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

この科目は、ほぼシラバス通りに進むことができた。受講生が多いため、受講意欲の差が見られる。出席率が高いものの、私語が多く、注意することに時間を使い、良好な結果が見られたと言い難い。中国語は一からの勉強になるため、イラスト、画像、映像などを持ちながら工夫して興味をもたらした。

②授業の進め方について

シラバスに従って進め、学生の理解度を確認しながら微調整した。最初は親しみやすい日本語の漢語を用いて練習させ、また、常に教科書の内容をわかりやすくプリントを作成し、練習した。その結果、一部の学生の把握度が高く、効果的な学習になったことを確認できた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

講義内容・方法・満足度などが全学の科目平均値より上回っており、学生の満足度をうかがえるが、一部の受講生の学習態度あるいは学習方法に問題があり、それを一人一人に対応することが今後改善すべき点であろう。
また、読書、映画鑑賞などを授業の一環として、言語のみならず、背景にある習慣や社会、文化も念頭に置いて理解させるのを目標とし、柔軟な考え方や異文化理解を認識させることも目的とする。
今後、中国語検定試験や短期語学研修なども視野に入れて工夫する。

奈良学園大学